

The logo for FFTV, consisting of the letters 'FFTV' in white on a green rectangular background.

FFTV



柏崎刈羽原発 ID不正事件と東電の「適格性」

2021.2.27 20:00～21:00

ゲスト：武本和幸さん（原発反対刈羽村を守る会）

周辺防護区域出入口

社員B
です



社員Bの
IDカード

社員A

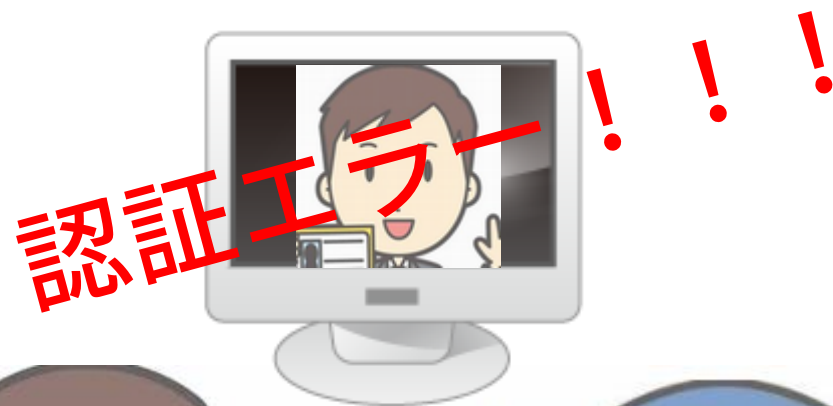


委託警備員

? 疑念?

IDカードと社員A
の顔を複数回見比べ、
疑念を抱きつつも入
域を許可した

防護区域出入口



? 疑念?
社員Bと認識



社員A



社員警備員C

社員Bの
IDカード

社員Bの識別情報

エラー警報を受信
登録顔写真との相違
に疑念を抱いたもの
の扉を開いた。

IDカードに社員A
の識別情報を登録す
るよう指示

新規制基準適合性審査

- 原子炉設置（基本設計）申請→審査→許可
- 工事計画（詳細設計）申請→審査→認可
- 保安規定 申請→審査→認可「東電が原発を設置・運転する適格性」

核防護に関わる審査

- 核防護規定 申請→審査→認可

検査

- 使用前事業者検査 確認申請→使用前確認（チーム検査）
- 原子力規制検査（日常検査・チーム検査）

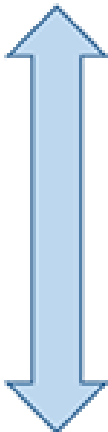




基本的考え方

(7月10日原子力規制委員会資料)







1. 福島第一原子力発電所の廃炉を主体的に取り組み、やりきる覚悟と実績を示すことができない事業者は、柏崎刈羽原子力発電所の運転をする資格は無い。
2. 福島第一原子力発電所の廃炉に多額を要する中で、柏崎刈羽原子力発電所に対する事業者責任を全うできる見込みが無いと、柏崎刈羽原子力発電所の運転を再開することはできない。
3. 原子力事業については、経済性よりも安全性追求を優先しなくてはならない。
4. 不確実・未確定な段階でも、リスクに対する取り組みを実施しなくてはならない。
5. 規制基準の遵守は最低限の要求でしか無く、事業者自らが原子力施設のさらなる安全性向上に取り組まなくてはならない。
6. 原子力事業に関する責任の所在の変更を意味する体制変更を予定しているのであれば、変更後の体制のもとで柏崎刈羽原子力発電所について再申請すべき。
7. 社内の関係部門の異なる意見や知見が、一元的に把握され、原子力施設の安全性向上に的確に反映されなければならない。

原子力規制検査 重要度の評価

【重要度の評価】

		重要度	内 容
高  低	指摘事項		● 安全影響が大きく、施設使用等が許容できない水準
			● 安全影響があり、発電所の通常状態からのリスクの増加が大きい水準
			● 発電所の通常状態からのリスクの増加は小さいものの、規制関与の下で改善を図るべき水準
			● 事業者の改善措置活動により改善すべき水準
	軽微	● 事業者が原因を除去して対応完了とする水準	

原子力規制検査 総合的な評価の区分

区分	総合的な評価の区分				
	第1区分	第2区分	第3区分	第4区分	第5区分
施設の 状態	活動目的は満足しており、自律的な改善が見込まれる状態	活動目的は満足しているが、安全活動に軽微な劣化がある状態	活動目的は満足しているが、安全活動に中程度の劣化がある状態	活動目的は満足しているが、安全活動に長期間にわたるまたは重大な劣化がある状態	活動目的を満足していないため、運転が許容されない状態
評価基準	全て 	 1または2	 3以上 または  1	 複数 または  1	運転が許容されない状態
追加検査	追加検査なし	追加検査 1	追加検査 2	追加検査 3	/

柏崎原発 侵入検知設備を損傷

東電発表、核防護規定違反か

新潟日報 2021/02/19 11:00

東京電力は19日未明、柏崎刈羽原発の侵入検知に関わる核物質防護設備を1カ所誤って損傷させたと発表した。損傷は1月27日で、既に代替措置を講じ、原子力規制庁に報告した。規制庁は核物質防護規定に違反する可能性があるとの認識を示している。同原発では1月下旬に中央制御室への不正入室問題も発覚。

核セキュリティ上の問題が相次いだことで、地元住民らの不信がさらに強まるのは必至だ。

東電によると、同原発で故障が発生していた他の核物質防護設備も含め、代替措置の実施状況や復旧の見通しなどの詳細を2月15日に規制庁に報告した。また、福島第2原発で無効化済みのIDカードの紛失事案も判明し、17日に規制庁に届け出た。



柏崎刈羽原子力発電所

2月24日 更田委員長（定例記者会見より）

新規制基準適合のための要件かというようなお問い合わせであったとしたら、これは新規制基準適合とは関係あるものではない。

だけど、実質的に発電所が運用されるに当たって核物質防護規定の変更申請を願い出ている、それが許可になっていない時点で、その発電所が利用されるかといったら、それは事実上あり得ないです。